

電信通り商店街とコラボ ワークショップも

未来の自分何してる？

8日から イベント キャンプや職業体験

子どもたちが未来の職業を創造するイベント「ココトミライ」が8日から豊頃町などで行われる。今年からは新たに帯広市の電信通り商店街にあるコーヒー豆焙煎(ばいせん)工場「ホッチーノ・ローズタリ」(東2南5)が会場となり、地元芸術家を講師に迎えてのワークショップ(WS)も行う。街中の活性化や、地域づくりにもつなげていく狙いだ。

同イベントは未来を生きる子どもたちの心を育み、仕事を創造する力や自発性を促そうと、NPO法人オール・シード・アソシエーション(ASA)、豊頃町、千葉千栄理事長)が2015年に始めた。今年で3回目。過去2回はいずれも豊頃町の廃校となった小学校を会場に、500人を超



える親子が参加した。

今年8日の「親子でタイムスリップキャンプ」(豊頃・茂岩山自然公園)を皮切りに、8月10日まで各種メニューを開催。帯広市内での職業体験なども予定している。

商店街とのコラボレーションは千葉理事長がかねて温めていた構想で、電信通り商店街の組合員でASA理事を務める大久保真さんが懸け橋となって実現する。

もともとは車の整備工場だったホッチーノ・ローズタリの広い空間を生かし、彫刻家の相原正美さん(帯広)を招いてWSを行う。WSは23、29、30日と8月3、4日の5回で、子どもたちが参加し、イメージする未来の街やお店などを考える。

千葉理事長は「回を重ねるごとにボランティアの人も増え、催し自体もレベルアップしている。今ある職種が半分ほどになると言わ

れる将来、子どもたちの自立支援の場として今後もこのイベントを続けていきたい」と話している。

現在、参加者を募っている。WSは無料。それ以外は参加費が必要。申し込み、問い合わせは、千葉理事長(0900・26229・4470)へ。(牧内奏)

パンフレットを手に参加を呼び掛ける千葉理事長